

出荷労力が軽減！「米のフレコン出荷」

- フレコン出荷を拡大することで、生産者の出荷作業の労力軽減がはかられます。
- JAグループでは、フレコン規格を全国統一化し、運送業者・倉庫業者等の業務効率化をはかるため、引き続き、全農統一フレコンの導入拡大をすすめます。
- 8年産までに、原則、備蓄米を除く全ての水田活用米穀の用途について、全農統一フレコンに切り替えます。

【図表：全農統一フレコンの種類・用途別導入計画】

種類・用途	6年産見込	7年産目標	8年産目標
主食用米	8.3万枚	11万枚	14万枚
水田活用米穀 (備蓄米除く)	1万枚	2万枚	3万枚
合計	9.3万枚 (55%)	13万枚 (75%)	17万枚 (100%)

※ カッコ内の%は、全フレコンのうち全農統一フレコンの割合



導入の効果

紙袋からフレコン出荷に切り替えることにより、**出荷作業の労力軽減がはかられます。**